

MIRAI モデリスタ バージョン

リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ/リヤスパッツ 取付要領書

品番: D2640-64710 MSD43-62001/MSD43-62002

品番: D2641-64710 MSD43-62003/MSD43-62004

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ/リヤスパッツの取付要領について記載してあります。

取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なってください。

■最新の適合情報はモデリスタホームページをご覧ください。

<https://www.modellista.co.jp>

取り付け上の注意事項

- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様に配慮してください。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なってください。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様に注意してください。
- 商品の仮合わせ時等においては、マスキングテープ等で車両側への傷付き防止策を行なった上で実施してください。
- 本製品の取り付けは、2名で作業を行なってください。
- エンドモール（両面テープ付き）・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂してください。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- リヤスパッツ&バンパーガーニッシュを取り付ける部品の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取ってください。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗ってください。（PACプライマーN-200を本品に添付）
- (重要)** プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分以上放置し乾燥させてください。
- (重要)** ■両面テープは、外気温が20℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なってください。
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発する為、速やかに作業を終了してください。
- 両面テープのプライマーは、特に塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- (重要)** ■両面テープの圧着を十分に行ってください。49N（5kgf）以上

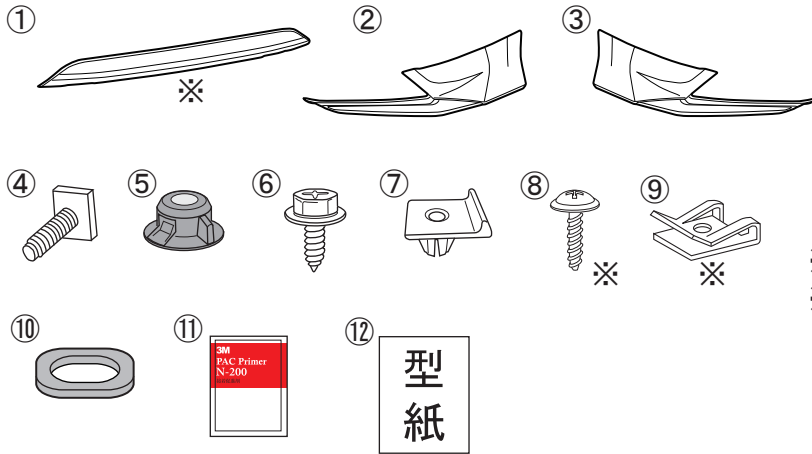
取り付け完了後の点検・注意事項

- リヤスパッツ&バンパーガーニッシュが、車両に確実に貼り付けされているか点検してください。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検してください。
- 取り付け完了後、リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ及び車両部品に傷がついていないか点検してください。
- 取り付け完了後、最低24時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意してください。（両面テープの剥がれ、車両とリヤスパッツ&バンパーガーニッシュとの間に隙間が発生するおそれがあります。）



アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品

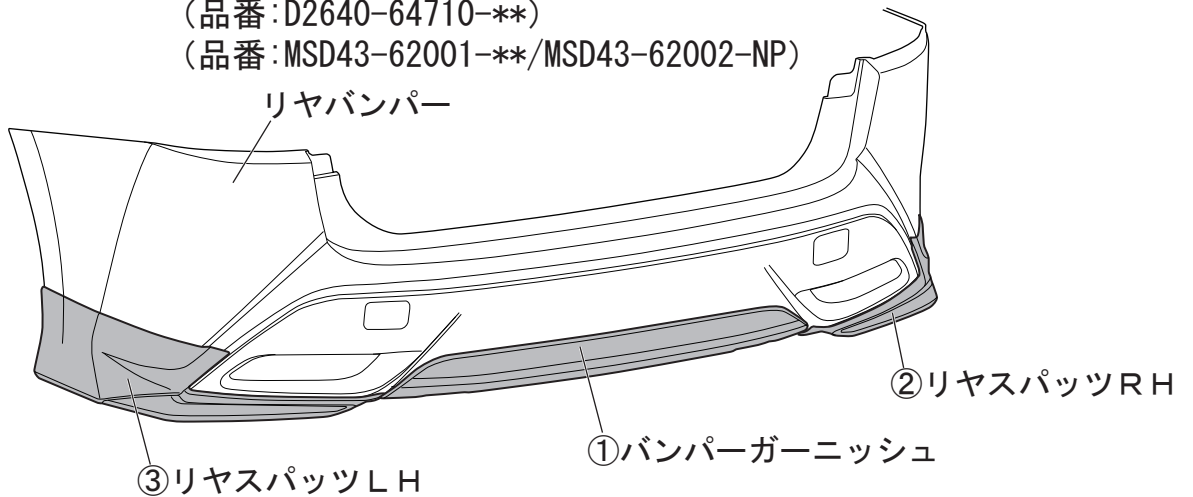


No.	品名	個数
①	バンパーガーニッシュ	1
②	リヤスパッツRH	1
③	リヤスパッツLH	1
④	スクエアヘッドボルト	4
⑤	クリップナット	4
⑥	タッピングビスA	2
⑦	グロメット	2
⑧	タッピングビスB	3
⑨	スピードナット	3
⑩	ラバーワッシャー	2
⑪	PACプライマー-N-200	1
⑫	型紙	1

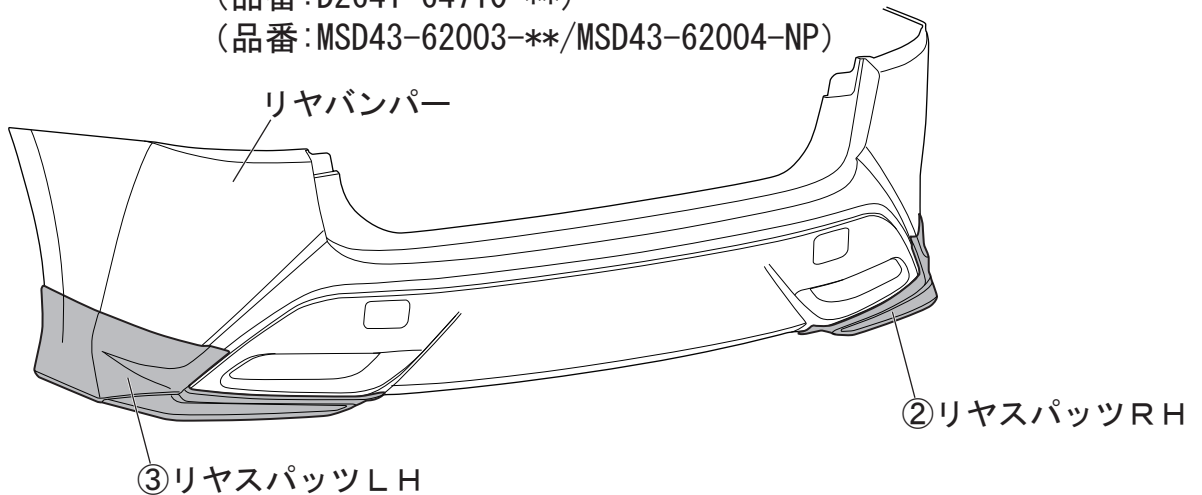
※①⑧⑨はリヤスパッツ&バンパーガーニッシュ 品番 : D2640-64710 MSD43-62001のみ同梱

取付概要

- ・リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ
 (品番:D2640-64710-**) (品番:MSD43-62001-**/MSD43-62002-NP)



- ・リヤスパッツ
 (品番:D2641-64710-**) (品番:MSD43-62003-**/MSD43-62004-NP)



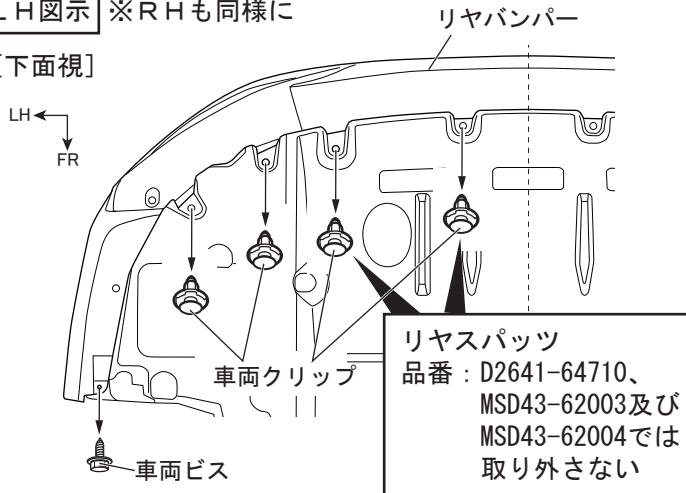
取付手順

※本書はリヤスパッツ&バンパーガーニッシュ（品番：D2640-64710 MSD43-62001/MSD43-62002）、
リヤスパッツ（品番：D2641-64710 MSD43-62003/MSD43-62004）両品番の取り付け要領を併記しています。
品番記載箇所は各内容に従い作業を行なってください。

I. 取付準備

LH図示 ※RHも同様に

[下面視]



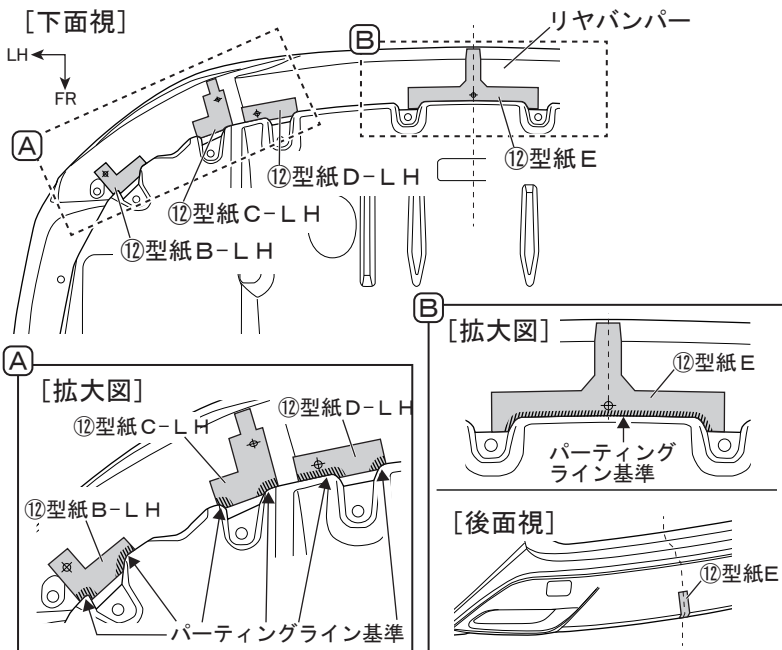
1. リヤバンパー下面の左図位置の車両ビス（左右各1ヶ所）、車両クリップ（下記参照）を取り外す。
 ・リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ
 品番：D2640-64710
 MSD43-62001/MSD43-62002
 車両クリップ取り外し（左右各4ヶ所）
 ・リヤスパッツ
 品番：D2641-64710
 MSD43-62003/MSD43-62004
 車両クリップ取り外し（左右各2ヶ所）

アドバイス

- ・取り外した車両ビス、車両クリップは再利用するため、紛失や破損のないよう保管してください。

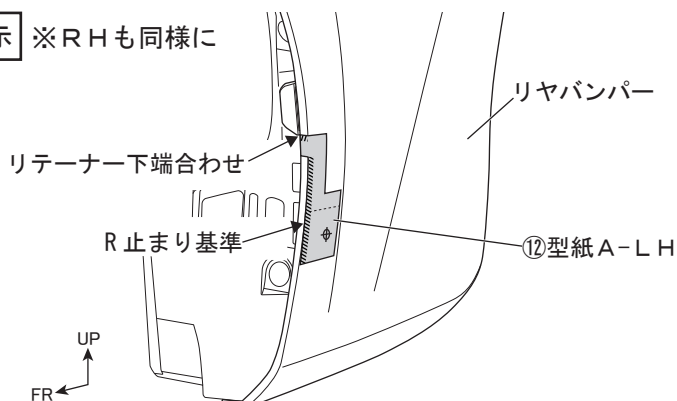
LH図示 ※RHも同様に

[下面視]



2. リヤバンパー下面の左図位置に⑫型紙B、C、D、Eを貼り付ける。
 ・リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ
 品番：D2640-64710
 MSD43-62001/MSD43-62002
 ⑫型紙B、C、D、E（7ヶ所）
 ・リヤスパッツ
 品番：D2641-64710
 MSD43-62003/MSD43-62004
 ⑫型紙B、C（4ヶ所）

LH図示 ※RHも同様に

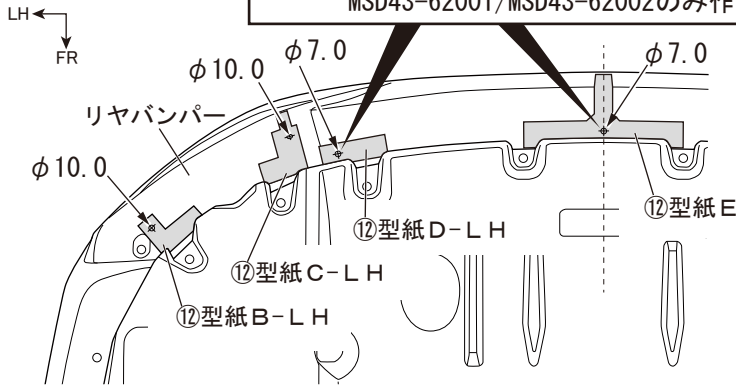


3. リヤバンパー側面の左図位置に⑫型紙Aを貼り付ける。（左右各1ヶ所）

LH図示 ※RHも同様に

[下面視]

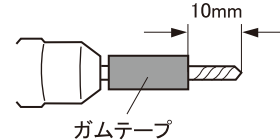
リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ
品番 : D2640-64710
MSD43-62001/MSD43-62002のみ作業



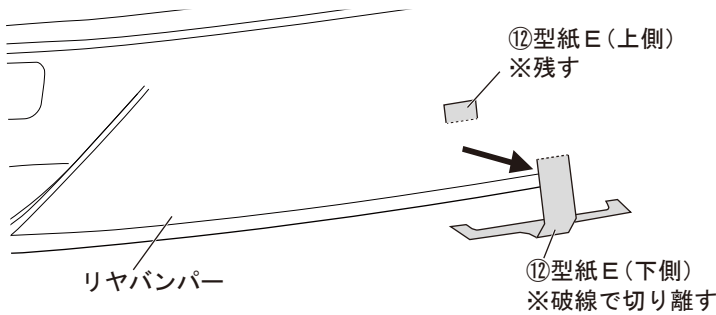
4. リヤバンパー下面の⑫型紙B、C、D、Eの穴あけ位置に合わせてドリルで穴を7ヶ所あける。
 (ドリル φ3.0→φ7.0 3ヶ所)
 (ドリル φ3.0→φ7.0→φ10.0 左右各2ヶ所)
- ・リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ
品番 : D2640-64710
MSD43-62001/MSD43-62002
 - ⑫型紙B、C、D、E (穴あけ 7ヶ所)
 - ・リヤスパッツ
品番 : D2641-64710
MSD43-62003/MSD43-62004
 - ⑫型紙B、C (穴あけ 2ヶ所)

アドバイス

- ・穴あけ作業の際は、ドリルの刃にガムテープ等を巻き、貫通防止策を施してください。

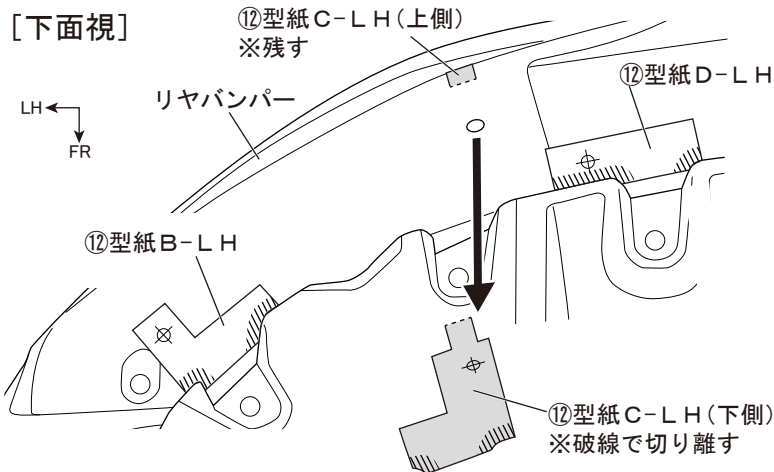


ガムテープ



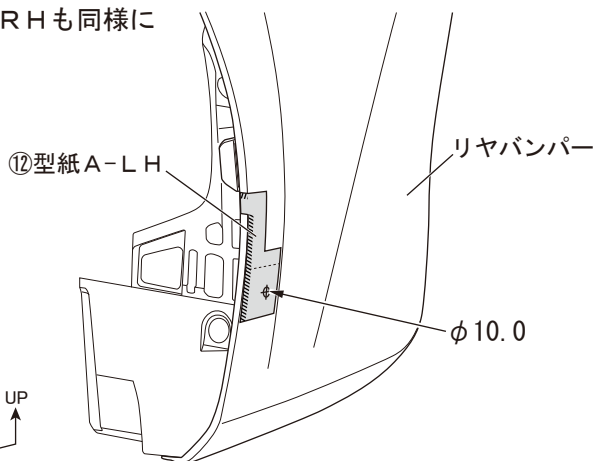
5. ⑫型紙C (左右各1ヶ所)、E (1ヶ所)の取り付け高さ位置 (モール端末高さ) を残し破線に沿って下側を剥がし、加工穴周囲のバリを除去する。
- ・リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ
品番 : D2640-64710
MSD43-62001/MSD43-62002
 - ⑫型紙C、E剥がし バリ除去 : 3ヶ所
 - ・リヤスパッツ
品番 : D2641-64710
MSD43-62003/MSD43-62004
 - ⑫型紙C剥がし バリ除去 : 左右各1ヶ所

[下面視]



6. ⑫型紙B、Dを剥がし、穴周囲のバリを除去する。(左右各3ヶ所)
- ・リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ
品番 : D2640-64710
MSD43-62001/MSD43-62002
 - ⑫型紙B、D剥がし バリ除去 : 左右各2ヶ所
 - ・リヤスパッツ
品番 : 2641-64710
MSD43-62003/MSD43-62004
 - ⑫型紙B剥がし バリ除去 : 左右各1ヶ所

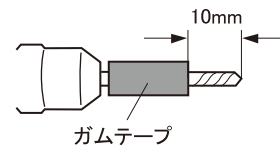
LH図示 ※RHも同様に



7. リヤバンパー側面の⑫型紙Aの穴あけ位置に合わせてドリルで穴を1ヶ所あける。
 (ドリル φ3.0→φ7.0→φ10.0 左右各1ヶ所)

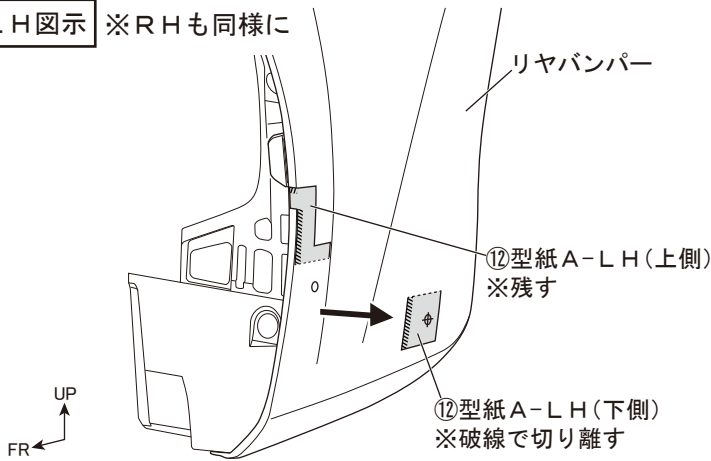
アドバイス

- ・穴あけ作業の際は、ドリルの刃にガムテープ等を巻き、貫通防止策を施してください。



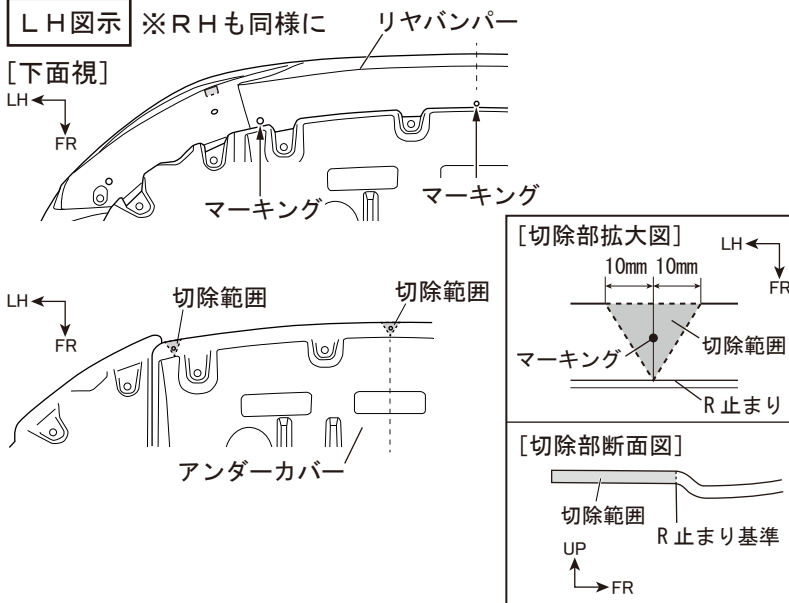
ガムテープ

LH図示 ※RHも同様に



8. ⑫型紙Aの②③リヤスパッツ取り付け高さ位置（モール端末高さ）を残し破線に沿って下側を剥がし、加工穴周囲のバリを除去する。（左右各1ヶ所）

LH図示 ※RHも同様に



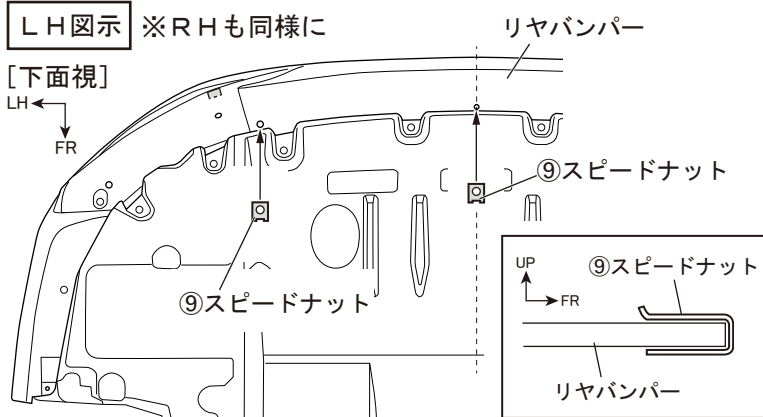
9. アンダーカバーに穴位置をマーキングし、先端部をめくり出して切除加工する。（3ヶ所）切除後、加工部周囲のバリを除去し、復元する。

・リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ
品番：D2640-64710
MSD43-62001/MSD43-62002のみ作業

アドバイス

・①バンパーガーニッシュの下面締結ビス先端の干渉を逃がすための加工です。

LH図示 ※RHも同様に



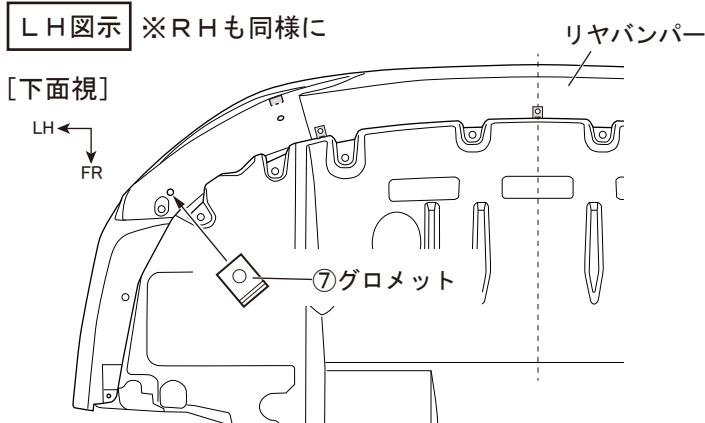
10. リヤバンパー下面のφ7.0穴合わせて⑨スピードナットを取り付ける。（3ヶ所）

・リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ
品番：D2640-64710
MSD43-62001/MSD43-62002のみ作業

アドバイス

・⑨スピードナットが動く場合はプライヤー等で軽く締め付けてから差し込んでください。

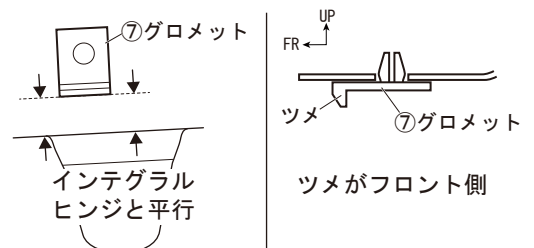
LH図示 ※RHも同様に



11. リヤバンパー下面左図位置のφ10.0穴に⑦グロメットを取り付ける。（左右各1ヶ所）

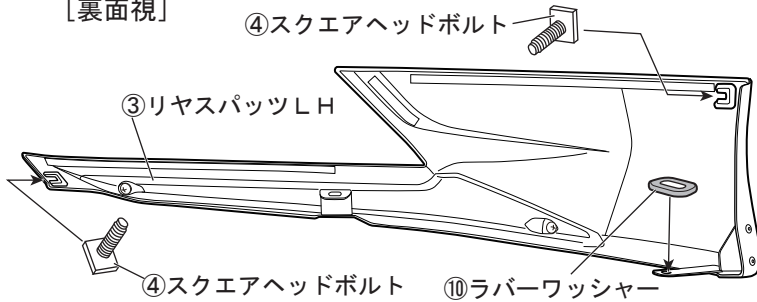
アドバイス

・⑦グロメットを取り付ける際は、向きに注意してください。



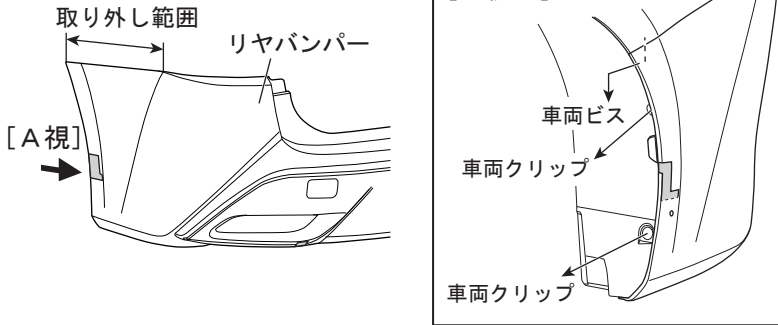
LH図示 ※RHも同様に

[裏面視]

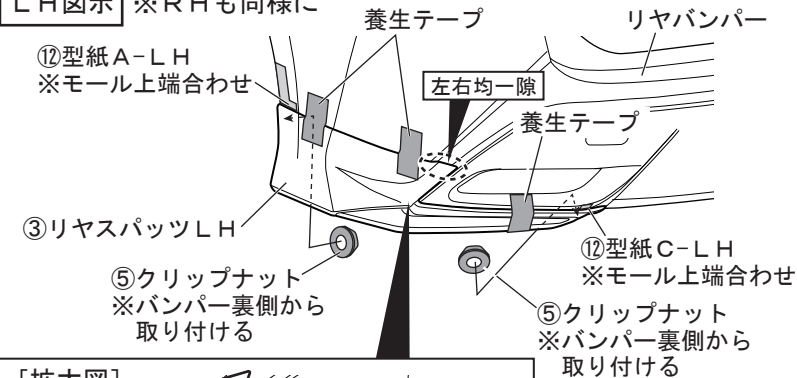


LH図示 ※RHも同様に

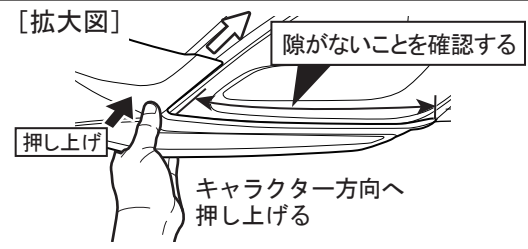
[A 視図]



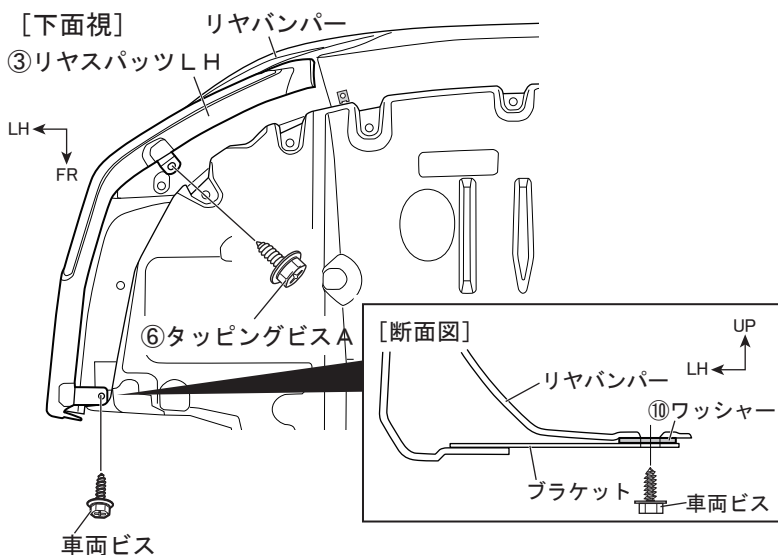
LH図示 ※RHも同様に



[拡大図]



[下面視]



12. ②③リヤスパッツに④スクエアヘッドボルトを取り付ける。左右各2ヶ所)

13. ②③リヤスパッツのブラケットの穴位置に合わせて上面に⑩ラバーワッシャーを貼り付ける。
貼り付ける際にブラケット上面を脱脂する。
(左右各1ヶ所)

14. 左図を参照し、車両クリップ (左右各2ヶ所)、車両ビス (左右各1ヶ所) を取り外し、リヤバンパーの一部を取り外す。

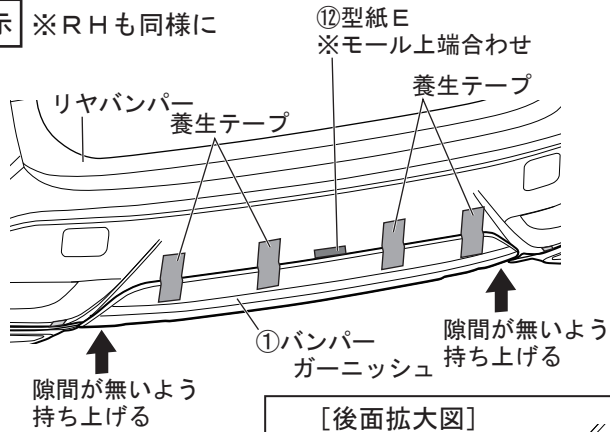
アドバイス

・リヤバンパー側面裏側にアクセスする為の作業です。

15. リヤバンパーの⑫型紙A、Cに合わせて②③リヤスパッツを車両に仮当てし、下面を車両ビス (左右各1ヶ所)、⑥タッピングビスA (左右各1ヶ所)、後面を⑤クリップナット (左右各1ヶ所)、側面を⑤クリップナット (左右各1ヶ所) で仮締めし、取り付け位置を確認して養生テープ等で仮固定する。

※⑤クリップナットの固定の際にリヤバンパー側面裏側にアクセスできるように、フェンダーライナーをめくってください。

LH図示 ※RHも同様に

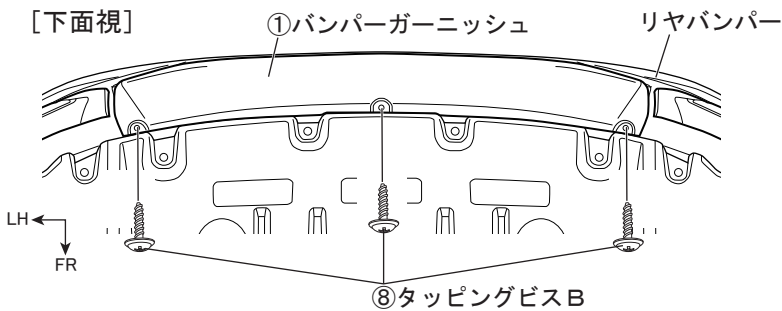


[後面拡大図]



リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ
品番 : D2640-64710
MSD43-62001/MSD43-62002のみ作業

[下面視]



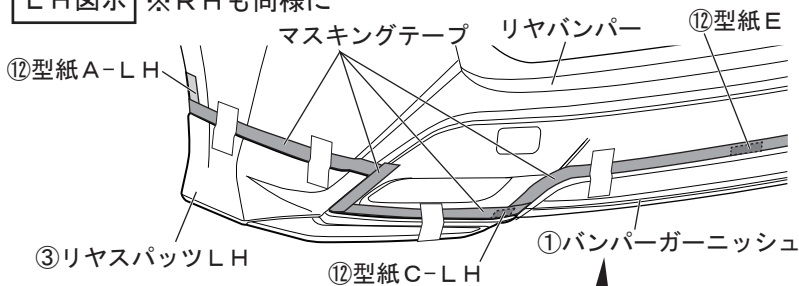
16. リヤバンパー後面の⑫型紙Eに合わせ①バンパーガーニッシュを車両に仮当てし、下面を⑧タッピングビスBで仮締めし(3ヶ所)、取り付け位置を確認して養生テープ等で仮固定する。

・リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ

品番 : D2640-64710

MSD43-62001/MSD43-62002のみ作業

LH図示 ※RHも同様に

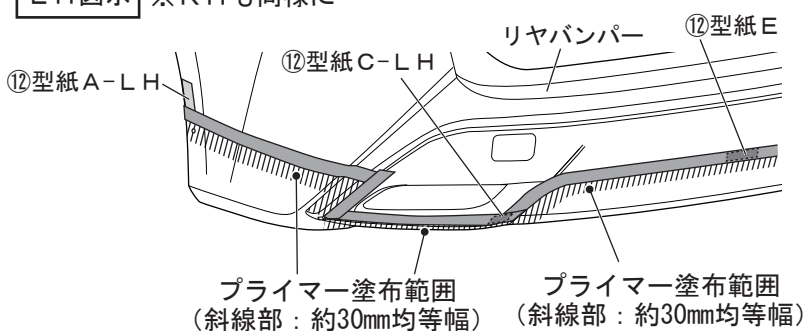


リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ
品番 : D2640-64710
MSD43-62001/MSD43-62002のみ作業

17. 左図を参照し、①バンパーガーニッシュ、②③リヤスパッツのモール上端に合わせてマスキングテープを貼り付ける。

18. ①バンパーガーニッシュ、②③リヤスパッツを取り外す。

LH図示 ※RHも同様に



リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ
品番 : D2640-64710
MSD43-62001/MSD43-62002のみ作業

19. リヤバンパーの左図斜線部を脱脂し、⑪PACプライマーN-200を塗布する。

アドバイス

- ・PACプライマーN-200は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- ・PACプライマーN-200塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。
- ・ボディコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去してください。

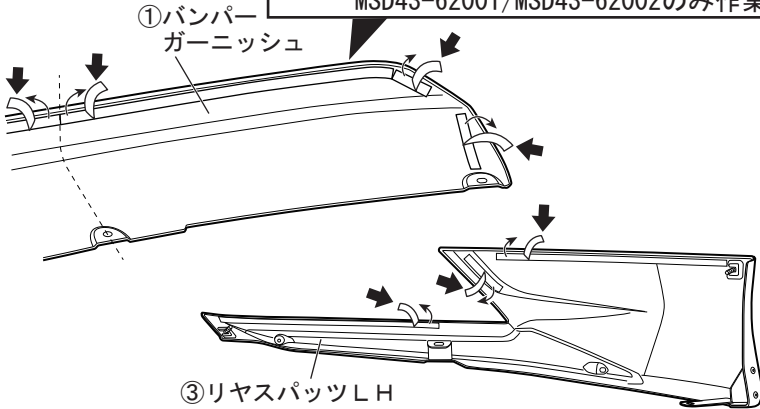
20. マスキングテープを剥がす。

※⑫型紙A、C、Eは剥がさないでください。

LH図示 ※RHも同様に

[裏面視]

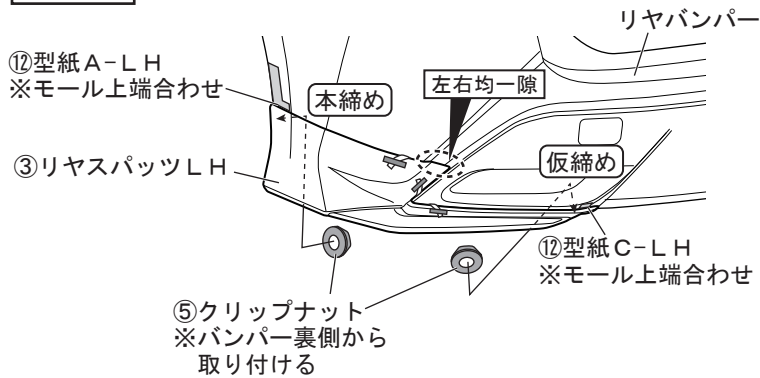
リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ
品番：D2640-64710
MSD43-62001/MSD43-62002のみ作業



21. ①バンパーガーニッシュ、②③リヤスパッツの離型紙を少し剥がし、表側へ折り返してマスキングテープで仮固定する。
- (①バンパーガーニッシュ) 左右各3ヶ所 左図矢印部)
- (②③リヤスパッツ) 左右各3ヶ所 左図矢印部)

II. 取付け

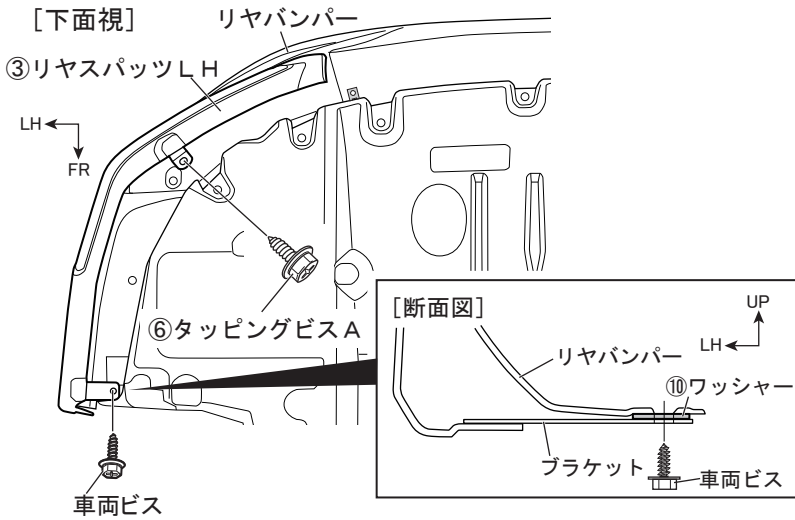
LH図示 ※RHも同様に



1. リヤバンパーの⑫型紙A、Cに合わせて②③リヤスパッツを車両に仮当てし、下面を車両ビス(左右各1ヶ所)、⑥タッピングビスA(左右各1ヶ所)、後面を⑤クリップナット(左右各1ヶ所)、側面を⑤クリップナット(左右各1ヶ所)で仮締める。
- 取付位置を確認し、②③リヤスパッツ側面の⑤クリップナットを本締めする。(左右各1ヶ所)

※⑤クリップナットの固定の際にリヤバンパー側面裏側にアクセスできるように、フェンダーライナーをめくってください。

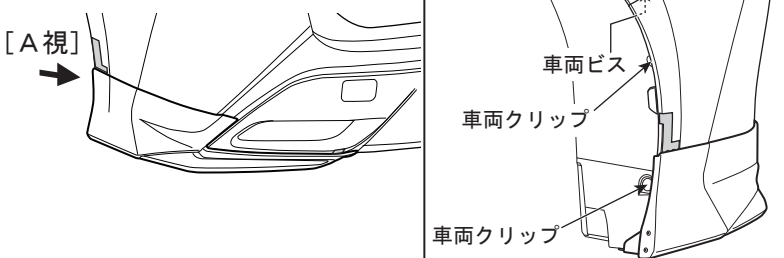
[下面視]



LH図示 ※RHも同様に

[A視]

[A視図]

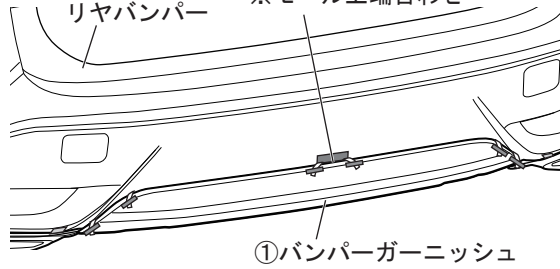


2. 左図を参照し、車両クリップ(左右各2ヶ所)、車両ビス(左右各1ヶ所)を取り付け、リヤバンパーを復元する。

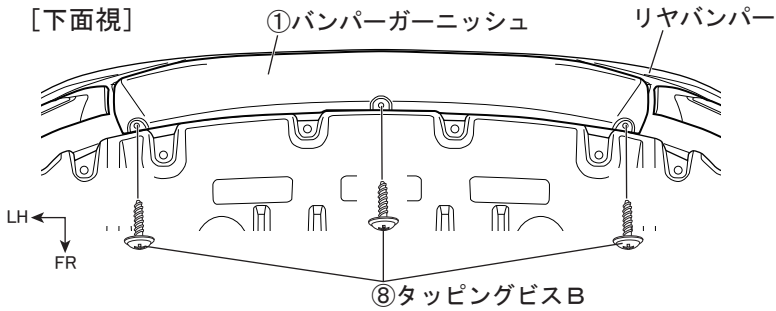
LH図示

※RHも同様に
リヤバンパー

⑫型紙E
※モール上端合わせ



[下面視]

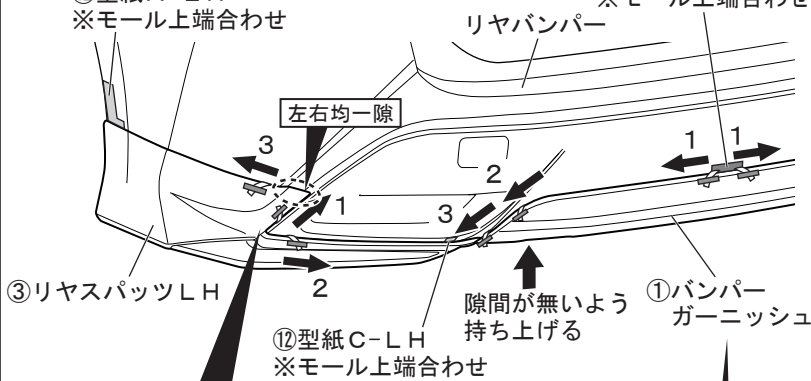


LH図示

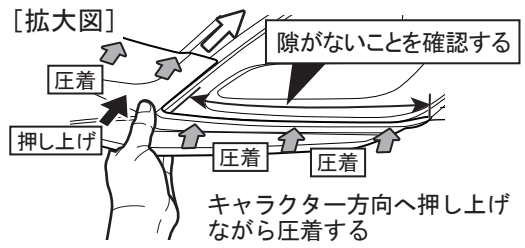
※RHも同様に

⑫型紙A-LH
※モール上端合わせ

⑫型紙E
※モール上端合わせ



[拡大図]

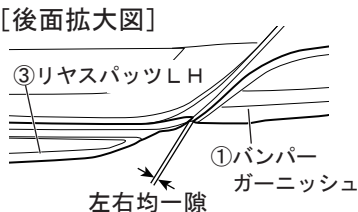


リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ

品番 : D2640-64710

MSD43-62001/MSD43-62002のみ作業

[後面拡大図]



リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ

品番 : D2640-64710

MSD43-62001/MSD43-62002のみ作業

3. リヤバンパー後面の⑫型紙Eに合わせ①バンパーガーニッシュを車両に仮当てし、下面を⑧タッピングビスBで仮締めする。(3ヶ所)

・リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ

品番 : D2640-64710

MSD43-62001/MSD43-62002のみ作業

4. ②③リヤスパッツの両面テープの離型紙を1~3の順に引き抜きながら圧着する。

5. ①バンパーガーニッシュの両面テープの離型紙を1~3の順に引き抜きながら圧着する。

・リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ

品番 : D2640-64710

MSD43-62001/MSD43-62002のみ作業

アドバイス

・離型紙が途中で切れない様に①バンパーガーニッシュ、②③リヤスパッツを少し浮かせながら離型紙を引抜いてください。

・両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度で行ってください。

6. ①バンパーガーニッシュ、②③リヤスパッツの浮き、剥がれが無いことを確認し、両面テープの貼り付け部を再圧着する。

7. リヤバンパーの⑫型紙A、Cを剥がし、仮締めしていた車両ビス(左右各1ヶ所)、⑥タッピングビスA(左右各1ヶ所)、⑤クリップナット(後面左右各1ヶ所)本締めする。

8. リヤバンパー後面の⑫型紙Eを剥がし、仮締めしていた⑧タッピングビスB(3ヶ所)を本締めする。

・リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ

品番 : D2640-64710

MSD43-62001/MSD43-62002のみ作業

9. リヤバンパー下面の車両クリップを復元し、作業完了。(左右各4ヶ所)

リヤスパッツ&バンパーガーニッシュの塗装

- ・本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。
- ・乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。
- ・両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして対応してください。

※リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ 品番：D2640-64710-00・MSD43-62002-NP

①バンパーガーニッシュ、②③リヤスパッツをボディ色で塗装する。

※リヤスパッツ 品番：D2641-64710-00・MSD43-62004-NP

②③リヤスパッツをボディ色で塗装する。

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、埃をウエスで取り除き、必ず脱脂作業を行う。
2. 製品に取り付けてある両面テープの全面をマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。（本製品の素材は>PPE<です）
4. 上塗り塗装を行う。
5. 硬化

注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用ください。

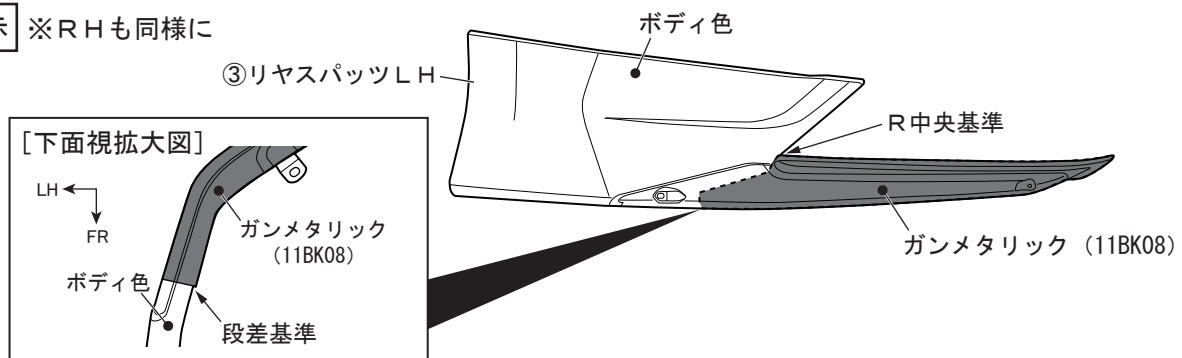
塗装乾燥温度は成形樹脂の物性上、必ず70℃以下で乾燥させてください。

変形しない様、形状を保持して乾燥してください。

ツートン塗装

1. ②③リヤスパッツの下図範囲をガンメタリック（11BK08）で塗り分け塗装する。

LH図示 ※RHも同様に

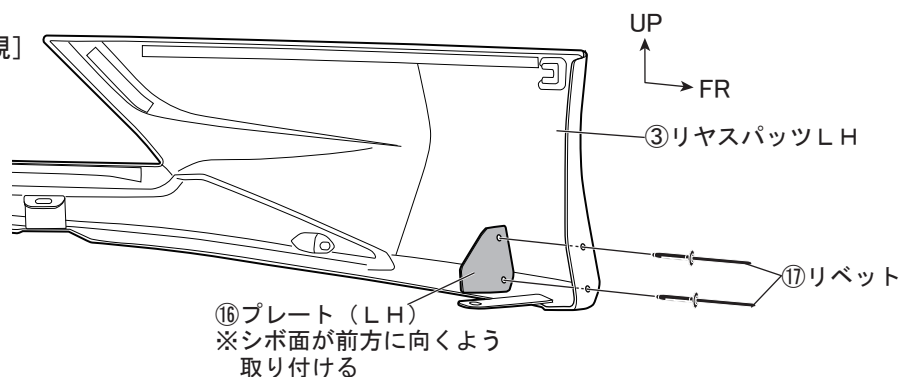


プレートの取り付け作業

1. ②③リヤスパッツに⑯プレートを⑰リベットで取り付ける。

LH図示 ※RHも同様に

〔裏面視〕



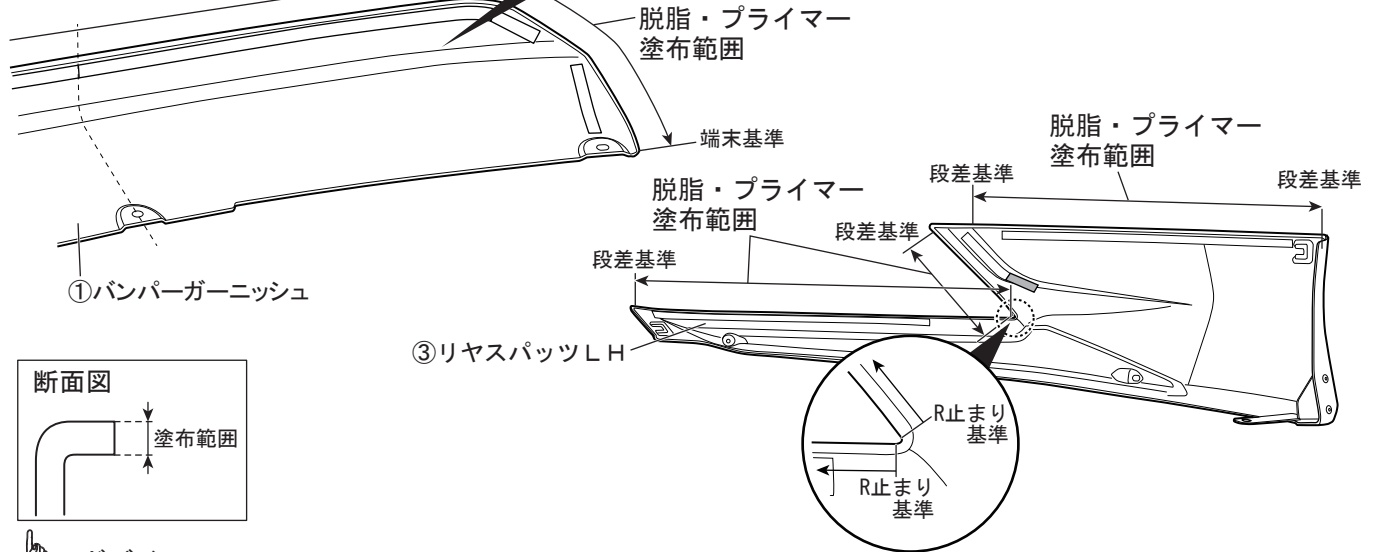
プライマーの塗布

1. ①バンパーガーニッシュ、②③リヤスパッツの⑱⑲⑳㉑エンドモール貼付け部分を脱脂し、
①①PACプライマーN-200を塗布する。

LH図示 ※RHも同様に

[裏面視]

リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ
品番：D2640-64710-00・MSD43-62002-NPのみ作業



アドバイス

- ・PACプライマーN-200は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- ・PACプライマーN-200塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。
- ・PACプライマーN-200はリヤスパッツ&バンパーガーニッシュ（またはリヤスパッツ）取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

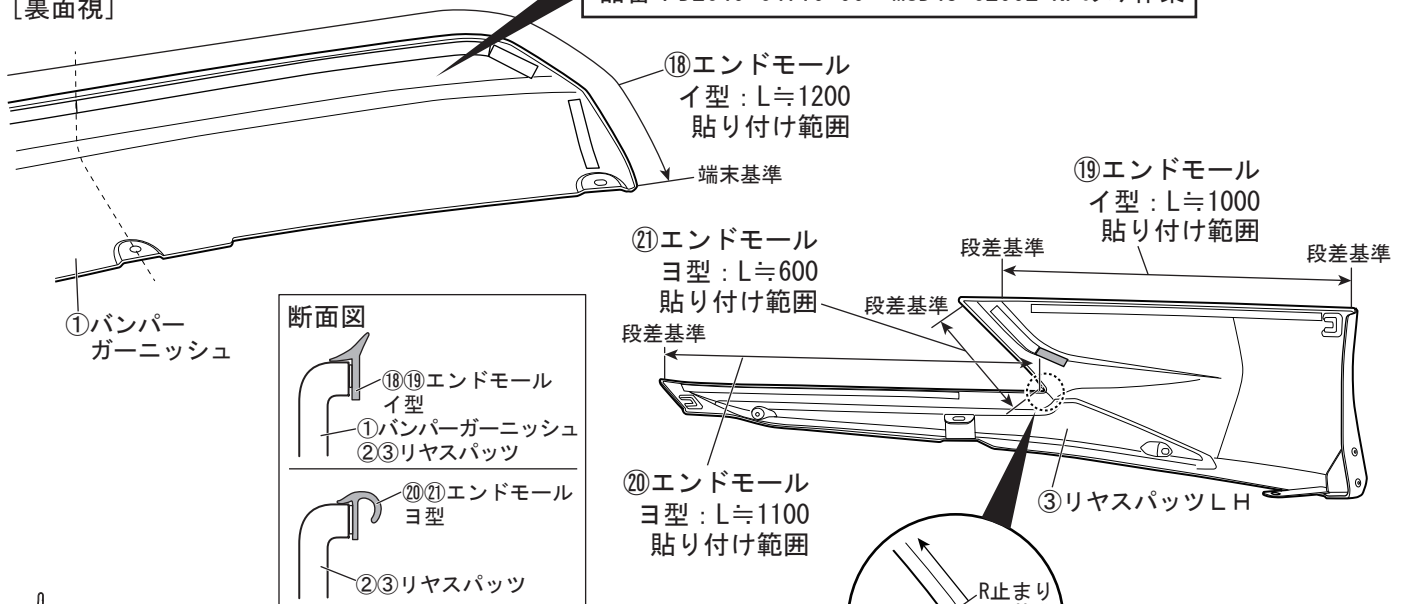
エンドモールの貼り付け作業

1. 下図の要領で⑱⑲⑳㉑エンドモールを貼り付ける。

LH図示 ※RHも同様に

[裏面視]

リヤスパッツ&バンパーガーニッシュ
品番：D2640-64710-00・MSD43-62002-NPのみ作業



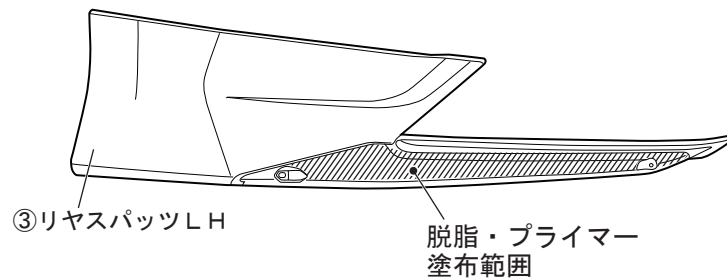
アドバイス

- ・⑱⑲⑳㉑エンドモール貼り付けの際は、モールの長さや形状（イ型、ヨ型）を確認して各部貼り付け、余剰分をカットしてください。
- ・両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。

メッキパーツの取り付け作業

1. ②③リヤスパッツの⑬メッキパーツ (RH/LH) 貼り付け部(下図斜線部)を脱脂し、⑪PACプライマーN-200を塗布する。

LH図示 ※RHも同様に



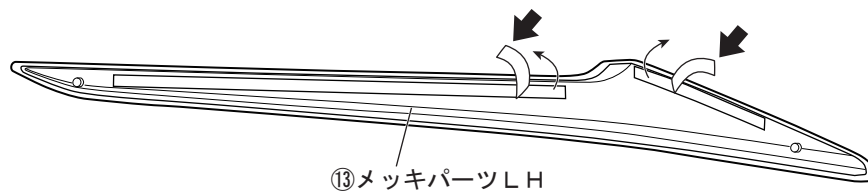
アドバイス

- ・PACプライマーN-200は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- ・PACプライマーN-200塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。
- ・PACプライマーN-200はリヤスパッツ&バンパーガーニッシュ (またはリヤスパッツ) 取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

2. ⑬メッキパーツ (RH/LH) の離型紙を少し剥がし、表側へ折り返してマスキングテープで仮固定する。(左右各2ヶ所 下図矢印部)

LH図示 ※RHも同様に

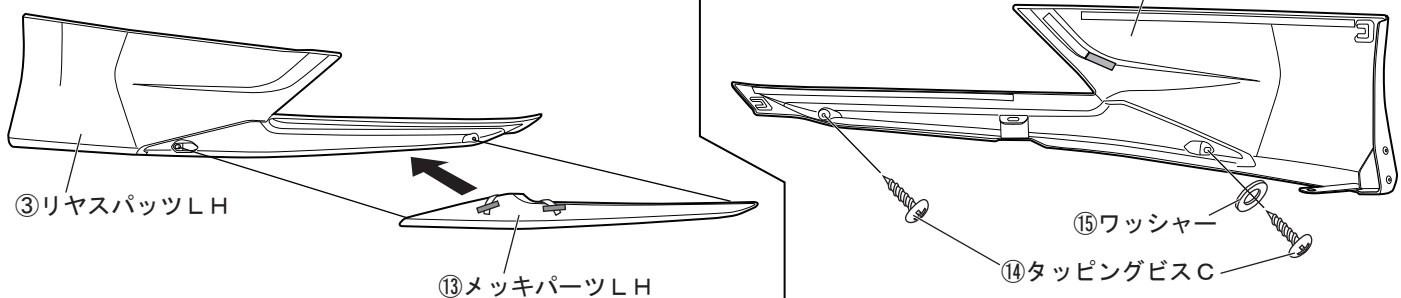
[裏面視]



3. ②③リヤスパッツに⑬メッキパーツ (RH/LH) を仮当てし、裏側から⑭タッピングビスC (左右各2ヶ所)、⑮ワッシャー(左右各1ヶ所)で仮締めする。

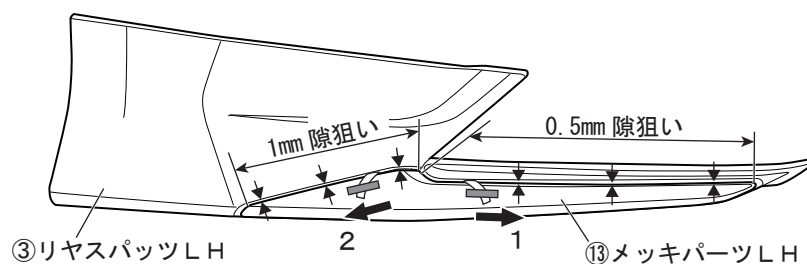
LH図示 ※RHも同様に

[裏面視]



4. 周囲の隙が均等になっていることを確認し、両面テープの離型紙を1~2の順に引き抜きながら圧着する。

LH図示 ※RHも同様に



5. 仮締めした⑭タッピングビスCを本締めする。(左右各2ヶ所)

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

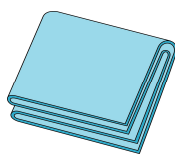


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス



WET 用
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールを痛めるため
使用しないこと

■ 脱脂作業上の注意事項

- ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
- 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠ 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

👉 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

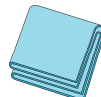
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗淨剤を使用して汚れを落とし、洗淨剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗淨を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



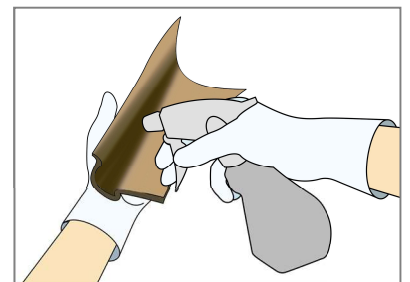
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

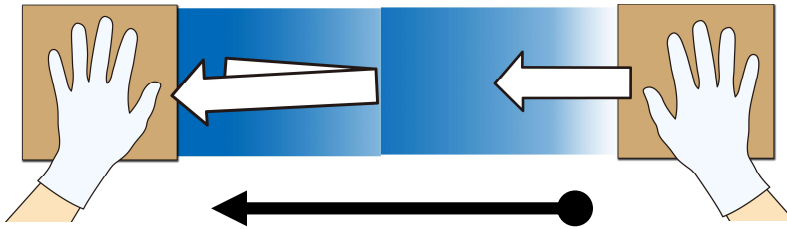
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

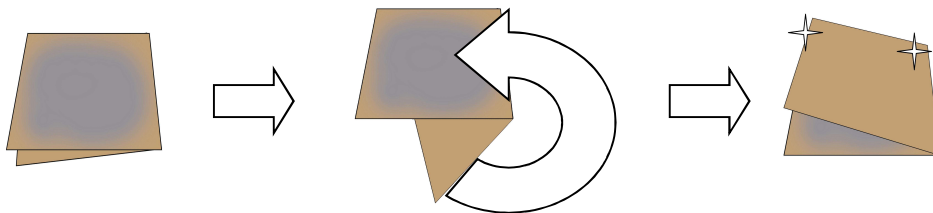
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3~5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。